

東日本ユニオンにいがた

http://www.geocities.jp/higashinihonunion_niigata/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2017年7月1日発行

第31号 (通巻第63号)

発行者：岡村広志 編集者：教育・広報部



1. 乗り継ぎ時の作業増加に伴い、乗り継ぎ時間を3分以上確保すること。
2. 車掌の基本時刻表のサイズを胸ポケットサイズにすること。

申し入れ項目 ダイヤ改正及び諸設備

この間新潟地本は、ワンマン運転の導入や拡大に伴い問題が発生する都度申し入れ等を通じて、設備・制度等の改善を求め、安全上の問題や、旅客対応が困難にある現状などを解消するために議論を重ねてきました。
しかし、支社側の問題放置により現場一線から

3. 各運輸区におけるダイヤ改正プロジェクト等の成果と課題を明らかにすること。
4. 乗務員に貸与しているタブレット端末のデータ更新は誰が行うのか明らかにすること。
5. 2017年赤川花火大会における輸送体制について具体的に明らかにすること。
6. 新潟運輸区B1247行路の467M新潟駅2番線ホーム留置手配時、2562M発車までの4分を付加時間として付与すること。

7. 新潟運輸区への女性用休養管理室設置の計画を明らかにすること。
8. 越後湯沢駅1番線の旧運転室脇の詰所を乗務員乗り継ぎ詰所とし、電子レンジ、ポット、ゴミ箱の設置及び流し台、トイレを使用できるようにすること。
9. 上越線・信越本線の停車を2、4、6停目に統一すること。
10. 乗務員休養管理室における2段ベッドの上下同時使用をやめること。
11. 越乃Shu*Kura運転室に冷房を整備すること。
12. 飯山線下り列車3両連転時の越後川口駅進入時のパターンを改修すること。
13. SL回送に関連する土曜日の単8446列車と日曜日の単8423列車の運転をやめA・B行路ともに新潟滞泊とすること。
14. 土休日運転の8333Mを毎日運行とすること。
15. えちごトキめき鉄道の直江津運転センター庁舎及び直江津駅休憩室(旧車掌区)に以前設置されていた信越線全線も見られるTIDを再度設置す

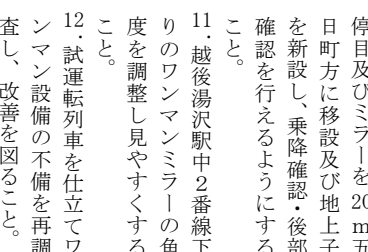
16. 現在えちごトキめき鉄道へ出向している出向者の将来展望を明らかにすること。
17. 設備社員の前頭添乗は2名を限度とするように系統間の調整をすること。

申し入れ項目 ワンマン運転関係

1. ワンマン運転区間各駅に簡易Suica改札機を設置すること。
2. 運転士による精算業務を伴わない仕組みを構築すること。
3. 長岡直江津駅間のワンマン列車における長時間便乗をやめること。
4. 設備社員の前頭添乗は1名を限度とするように系統間の調整をすること。
5. E129系運賃箱上の回転式仕切り戸(アクリ

18. E127系前面ガラスの飛散防止フィルムを貼り直すこと。
19. 工事列車(途中卸し)作業時は切換停電等の競合を発生させないこと。
20. 工事列車(途中卸し)作業終了後の発車時機は各運輸区統一すること。
21. 新潟駅留線出入区に伴う点呼の必要性について明らかにすること。
22. 乗務員の各駅対面点呼を廃止し、FaceTimeに統一すること。
23. 只見線の通信設備を確保すること。
24. 新潟支社管内全線の勾配標、曲線制限標、キロ程標を整備すること。
25. 団体交渉確認事項を早急に履行すること。
①只見線踏切番号標の設置
②越後寒川駅中線停止位置目標の設置

6. ワンマン列車時の運転時分を次の通りとすること。
①上り 笠島駅、米山駅間 4分00秒
②下り 柏崎駅1番、茨目駅間 4分00秒
③上下 上下浜、柿崎駅間 3分30秒
7. えちごトキめき鉄道直江津駅における信越本線ワンマン列車から妙高は



8. 来迎寺駅上りホームミラーの位置、もしくは角度を調整し見やすくすること。
9. 越後川口駅上下線のITVを、陽光が当たっても見やすいように改修すること。
10. 六日町駅上りワンマン停目及びミラーを20m五日町方に移設及び地上子を新設し、乗降確認・後部確認を行えるようにすること。
11. 越後湯沢駅中2番線下りのワンマンミラーの角度を調整し見やすくすること。
12. 試運転列車を仕立てワンマン設備の不備を再調査し、改善を図ること。

現場第一線の声をダイヤ・設備に反映を

申し入れ項目 ダイヤ改正の検証及び諸設備に関する申し入れを提出!

今年3月に実施されたダイヤ改正ではE129系車両の増投入を通じてワンマン運用の拡大が図られました。
この間新潟地本は、ワンマン運転の導入や拡大に伴い問題が発生する都度申し入れ等を通じて、設備・制度等の改善を求め、安全上の問題や、旅客対応が困難にある現状などを解消するために議論を重ねてきました。
しかし、支社側の問題放置により現場一線から



18. E127系前面ガラスの飛散防止フィルムを貼り直すこと。
19. 工事列車(途中卸し)作業時は切換停電等の競合を発生させないこと。
20. 工事列車(途中卸し)作業終了後の発車時機は各運輸区統一すること。
21. 新潟駅留線出入区に伴う点呼の必要性について明らかにすること。
22. 乗務員の各駅対面点呼を廃止し、FaceTimeに統一すること。
23. 只見線の通信設備を確保すること。
24. 新潟支社管内全線の勾配標、曲線制限標、キロ程標を整備すること。
25. 団体交渉確認事項を早急に履行すること。
①只見線踏切番号標の設置
②越後寒川駅中線停止位置目標の設置

公平で納得できる制度を求める 本部扶養手当の見直しに関する申し入れを提出

中央本部が6月9日に「としました。また、配偶者を減額し、子を増額する根拠について、配偶者に対して扶養手当を支給する割合が減っていること」を挙げましたが、机上の計算やデータだけで社員の実生活態を知ることはできません。
本部は6月20日、世代間による不公平をなくし、全社員が納得できる扶養手当をめざして、申し入れ「扶養手当の見直しに関する申し入れ」を経営側に提出しました。

「世代による不公平が生じるのではないかなど、公平性や納得性に疑問符がつけられています。扶養手当は基準内賃金に含まれるため、その見直しは月例賃金はもちろんのこと生涯賃金にも大きな影響を与えます。経営側は「扶養手当」を見直す目的として「子育て支援のさらなる充実を図ること」。

申し入れ項目

1. 扶養親族別の金額について(1)配偶者の項を、現行の16,000円とすること。